

七飯町 議会だより

令和7年第4回定例会 ・ 3億1千4百932千円を追加する一般会計補正予算（第6号）を可決。

令和7年第4回定例会は12月8日に招集され、会期を10日までの3日間として開催されました。一般会計及び各特別会計補正予算、公の施設に係る指定管理者の指定4件等、議案17件について審議を行いました。

一般質問では3人の議員が質問に立ち、町政に対する理事者の考えを質しました。また、総務経済常任委員会及び民生文教常任委員会から報告書の提出があったほか、関係機関へ要請する意見書1件を審議し、原案のとおり可決されました。



審議結果 【第4回定例会】 令和7年12月8日～10日の審議結果は下記のとおりです。
○=全員一致で可決 ○=賛成多数で可決 ●=賛成少数で否決 ×=賛成なしで否決

区分	結果	番号	議 件 名 等	継続審査・調査
条例制定	付 託	議案第51号	七飯町デマンド型交通の運行に関する条例の制定について	総務経済常任委員会へ付託
	付 託	議案第52号	社会福祉法人に対する助成の手続に関する条例の制定について	民生文教常任委員会へ付託
条例改正	付 託	議案第53号	七飯町附属機関設置条例の制定について	総務経済常任委員会へ付託
	付 託	議案第54号	七飯町特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務経済常任委員会へ付託
その 他	付 託	議案第55号	七飯町手数料条例の一部改正について	総務経済常任委員会へ付託
	付 託	議案第56号	七飯町環境保全条例の一部改正について	総務経済常任委員会へ付託
	○	議案第57号	七飯町営住宅の設置条例の一部改正について	
	○	議案第58号	七飯町道桜町2号緑水無線ご線橋補修工事に係る協定について	
	○	議案第59号	七飯町公の施設に係る指定管理者の指定について	
	○	議案第60号	七飯町公の施設に係る指定管理者の指定について	
	○	議案第61号	七飯町公の施設に係る指定管理者の指定について	
	○	議案第62号	七飯町公の施設に係る指定管理者の指定について	
	○	議案第63号	令和7年度七飯町一般会計補正予算（第6号）	
	○	議案第64号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
補正予算	○	議案第65号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
	○	議案第66号	令和7年度七飯町介護保険特別会計補正予算（第3号）	
	○	議案第67号	令和7年度七飯町水道事業会計補正予算（第1号）	
	○	議案第67号	令和7年度七飯町水道事業会計補正予算（第1号）	
意見書	○	発議案第13号	地方税財源の充実確保を求める意見書	
その他	報告済		常任委員会報告（総務経済常任委員会、民生文教常任委員会）	
	報告済		出納検査報告	
	承認		議員の派遣について	
	許可		閉会中の継続調査の申し出について	
	承認		閉会中の委員会活動の承認について	

定例会・臨時会出席状況一覧表 ※判定 ○=出席、×=欠席、△=遅参・早退・中座、公=公務、忌=忌引

開会日	議員名	澤出 宏宏	神崎 和枝	江口 勝幸	青山 金助	川上 弘一	佐々木 隆二	田村 敏郎	稲垣 明美	中川 友規	平松 俊一	上野 武彦	池田 誠哉	川村 主税	木下 敏
第4回定例会	12月8日	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12月9日	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12月10日	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3回臨時会	12月26日	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和7年第4回定例会 審議して決まったこと

条例制定

- ◆七飯町デマンド型交通の運行に関する条例の制定について
慎重を期すため総務経済常任委員会へ付託し、閉会中の継続審査とした。
- ◆社会福祉法人に対する助成の手続に関する条例の制定について
慎重を期すため民生文教常任委員会へ付託し、閉会中の継続審査とした。
- ◆七飯町附属機関設置条例の制定について
慎重を期すため総務経済常任委員会へ付託し、閉会中の継続審査とした。
- ◆七飯町特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
慎重を期すため総務経済常任委員会へ付託し、閉会中の継続審査とした。
- ◆七飯町手数料条例の一部改正について
慎重を期すため総務経済常任委員会へ付託し、閉会中の継続審査とした。
- ◆七飯町環境保全条例の一部改正について
慎重を期すため総務経済常任委員会へ付託し、閉会中の継続審査とした。

条例改正

- ◆七飯町営住宅の設置条例の一部改正について
令和7年度施工町営住宅老朽空家除却工事が完了したことに伴い、耐用年

補正予算

- ◆七飯町一般会計補正予算（第6号）
補正額…3億1千4百932千円
農業支援対策事業費、町長選挙執行費、ふるさと納税事業費等に伴う補正。
- ◆七飯町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
補正額…5百65千円
七飯町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
補正額…2千7百393千円
- ◆七飯町介護保険特別会計補正予算（第3号）
補正額…1千843千円
- ◆七飯町水道事業会計補正予算（第1号）
支出補正額…1千4百930千円

その他

- ▽七飯町道桜町2号緑水無線ご線橋補修工事に係る協定について
協定の目的…七飯町道桜町2号線水無線ご線橋補修工事
- ▽協定の方法…随意契約
- ▽協定金額…1億1百030千円
- ▽協定の相手方…北海道旅客鉄道株式会社
- ◆七飯町公の施設に係る指定管理者の指定については、下表参照。

- ◆議員の派遣について
- ◆閉会中の継続調査の申出について
- ◆閉会中の委員会活動の承認について
- ◆次の方の意見書について可決
◎地方税財源の充実確保を求める意見書

公の施設に係る指定管理者の指定について、次のとおり可決しました。

公の施設 の名称	七飯町パークゴルフ場	屋内ゲートボール場	七飯町大沼国際 交流プラザ	道の駅 なないろ・ななえ
公の施設 の位置	七飯町本町2丁目140番地1	七飯町大川11丁目347番地1	七飯町本町2丁目96番地1	七飯町字大沼387番地1
指定管理者 となるべき 団体の住所 名称及び代 表者	七飯町本町2丁目20番20号 グリーンP・Gサービス株式会社 代表取締役 大森 章吾	七飯町大川11丁目347番地1 すずらんコート利用者の会 会長 逸見 和子	七飯町大沼85番地15 一般社団法人七飯 大沼国際観光コン ベンション協会 代表理事 川村 晃也	七飯町字大沼下380番地2 一般社団法人七飯 町振興公社 代表理事 山川 俊郎
指定管理 期間	令和8年4月1日から 令和11年3月31日まで			

各委員会の活動報告 ※各委員会からの報告書を抜粋して掲載しています

所管事務調査：総務経済常任委員会

令和7年6月6日、24日、9月26日、10月14日、20日、11月10日、12月1日の7日間、委員会を開催し、商工労働観光課長、総務課長、政策推進課長の出席を求め、提出資料に基づく説明の聴取を行った。移住定住施策等については、11月4日から7日までの4日間、宮崎県都城市及び大分県豊後高田市へ行政視察を行った。

【ふるさと納税について】
ふるさと納税事業の強化のためには、運営体制の充実を図るとともに、情報発信に必要な各種機器（スマートフォン、カメラ等）を整備し、公式SNS（Instagram、Facebook等）の早期開設等を行い、情報発信の強化が求められる。また、新規返礼品取扱事業者開拓のためのセミナーを開催し、事業者の育成や意見交換が図られるためにも、事業者団体

報告書全文は町HPへ

一般質問



一般質問とは？

質問議員 3人 質問項目 5問

一般質問の原稿は、質問者本人が質問と答弁を要約して作成します。
 なお、詳細な質疑や答弁についてはYouTubeチャンネルや会議録をご覧ください。

議員が町の行財政全般にわたって町に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。YouTubeチャンネルでは個人ごとの質問を見ることが出来ます。

避難施設と防災無線について

平松 俊一 議員

●停電時、避難施設に外部発電機を繋げて即利用できるのか。防災無線システムは7億円の設置費とは別に10年分約8千万の管理費を前納しているが、今定例会で追加補正予算も組まれ、他にかかる経費について伺いたい。

▲避難所については照明等仮設組立の必要な施設もある。防災無線システムの運営に毎年200万円程、その他に機器の更新時等はその分の費用が発生する。10年契約後に関しては正確な見積りではないが今以上の経費が必要になるものと思われる。

●他の質問 町内の交通安全対策と交通安全施設について



町内の情報周知と災害時における住民避難について

江口 勝幸 議員

●今年の8月に記録的な豪雨が発生し、町内各所にも大きな被害が起きた。その現状をふまえて災害時に町が発する情報周知の為に使用される連絡対応はどのような対策をとっているのか。避難行動要支援者避難支援制度における年毎の状況についてお伺いしたい。

▲情報周知については防災無線、町のアプリ等にて情報を発信している。個別計画については、町内会連合会の皆様等にご協力いただきながら進めていきたいと考えている。

●他の質問 「学童保育の現状と児童館について」ほか



福祉灯油について

上野 武彦 議員

●前回、申請率を80%台まで引き上げていきたいとの答弁だったが、どうなったのか。また、すべての物価が高騰しており、所得の少ない非課税世帯を応援する冬場の福祉灯油について、七飯町は渡島松山の自治体で最低の5千円である。松山の市町並みに1万円以上に引き上げるべきではないか。

▲支給率について、令和6年度は74.4%と約14%アップしている。物価高騰対策、低所得世帯支援給付金事業などを加味したうえで、今後福祉灯油の金額総合的に改善していきたい。向うで努力していきたい。



SNS公式アカウント開設のお知らせ

七飯町議会では、Facebook及びInstagramに公式アカウントを開設しました。各委員会の開催状況などを議員自らアップしていきますので、ぜひフォローしていただければと思います。



七飯町議会 Facebook アカウント



七飯町議会 Instagram アカウント

七飯町議会のYouTubeチャンネルでは、各定例会・臨時会・予算審査及び決算審査特別委員会の録画中継を配信しております。YouTubeで七飯町議会と検索していただくか、町公式ホームページの七飯町議会のページからご覧いただけます。



七飯町議会 YouTube チャンネル



七飯町議会 ホームページ

また、町公式ホームページでは議案等もご覧いただけるようになっておりますので、併せてご覧ください。

令和8年定例会の開催予定

第1回定例会 3/3~ (火) 新年度予算を審議	第2回定例会 6/17~ (水) 政策予算を審議
第4回定例会 12/8~ (火) 前年度決算を審議	第3回定例会 9/7~ (月)

※上記の日程は変更になる場合もありますので、お手数ですが、ホームページ又は議会事務局へご確認ください

▼青山金助議員がご逝去

青山金助議員（満70歳）が、令和7年12月13日にご逝去されました。青山金助氏は、平成19年5月に当選以来、5期19年の間、町政の進展と地方自治の発展に尽力されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

等の組織整備を行い、年間を通じて安定的に供給が可能な返礼品をはじめ、魅力ある返礼品の開拓により、更なる寄附額増加が図られることを強く望む。

【各種事務規定について】

打合せ協議に係る文書の作成において、公文書の作成は、軽易なものを除き、作成するとされているが、軽易なものについての判断は各担当に委ねられていることから、軽易なものの基準を定めることで、公文書の作成基準を明確にし、統一的な事務処理を行うべきである。また、相談業務や苦情対応等における各種ハラスメント事案の発生を簡易に確認できるように、打合せ記録の様式の整備を図り、課内での情報共有をはじめ、上司や同僚へ相談しやすい職場環境の構築が求められる。

【移住定住施策等について】

移住希望者の受入体制においては、今回行政視察を行った都市を参考に、移住・定住サポートセンター、雇用コーディネーター、空き家相談センター等を構成するワンストップで対応が可能となるサービスの提供や、豊後高田市の定住促進無償宅地事業を例に、移住者が長く住み続けられる施策の実施が求められている。また、移住希望者の条件を満たし、広く移住者を呼び込むためには、就業場所の確保に繋がる企業誘致や、住居の提供に係る空き家対策などを更に強化し、移住定住者の増加に寄与する施策の実施を強く望む。

所管事務調査：民生文教常任委員会

令和7年6月6日、25日、7月29日、8月21日、9月26日、10月8日、23日、31日、11月20日、12月2日の10日間、委員会を開催し、福祉課長、健康推進課長、学校教育課長、環境生活課長、教育監兼教育総務課長の出席を求め、提出資料に基づいた説明の聴取及び現地調査を行った。また、リサイクル施設の運営について、ラムサール条約登録緑地の保全活動及び環境学習について11月10日から13日までの4日間において、佐賀県佐賀市、佐賀県有田町にて行政視察を行った。

【発達障がい者及び引きこもり者の町内の状況と対策について】

発達障がいを抱える子への支援を行うためには、早期発見が非常に重要になってくる。その子に合わせた関わり方、特性に合わせた配慮・支援をすることによってその子なりの発達を促すことに繋がることが期待される。町においても、3歳児健診や5歳児健診時はもちろん、保護者や保育園等からの相談に対応し、早期発見に繋がる体制が構築されている。就学時においては、健康推進課と学校教育課が情報を共有し、支援が必要となる児童・生徒の把握に努めている。また、保護者と連携した対応が必要となる中、保護者との関係構築に向けた丁寧な説明を今後も継続して実施されることが望まれる。

引きこもり支援に対しても、七飯町社会福祉協議会等と連携し様々な取組を実施しており、支援体制が構築されている。個別の事情もあり、引きこもりを解消することだけが問題の解決とはならないが、8050問題など時代の変化に対応した支援体制の構築が望まれる。

発達障がい、引きこもり等の支援が必要な方の一助となるよう、きめ細やかな対応が継続され、更なる支援体制の拡充が図られることを望んで委員会報告とする。

【リサイクル施設の運営について】

当町のリサイクル施設は稼働から29年が経過し、機器類、設備ともに老朽化のため今後の更新について検討していかなければならない状況である。更新について検討の際には、民間事業者との連携を考慮することや、現在町では可燃ごみとして処理している剪定枝についても視察先である有田町のように有効活用する方策も含めて、有効な施設の在り方を検討していくことを望む。

また、プラスチック圧縮梱包機の導入を行っているが、人員による選別作業は継続して行われており、視察先においても「毒性のある植物を除くことやリサイクル品の販売会など、住民の理解・協力があるから行っている取り組みである」と担当者から説明があった。行政と住民が協力しながらごみの処理について考えていくことが重要であり、町民に対し施設での作業実態を周知するなど、町民の意識向上につながる取組の推進を望み委員会報告とする。

【ラムサール条約登録緑地の保全活動及び環境学習について】

平成24年のラムサール条約登録以降、環境学習や保全活動を継続して実施しているが、子ども達の学習の場が更に充実するよう、広いスペースを確保の上で展示を増やすなどの取組をラムサール協議会と連携し進めていくことが必要である。

また、視察先の佐賀市での取組のように地域住民と一体となって大沼という素晴らしい環境をより活用していくためにも、住民の理解・協力を得られるよう周知活動の推進が図られることを望み委員会報告とする。

【藤城小学校グラウンド擁壁の傾倒について】

藤城小学校グラウンド擁壁補修調査設計委託業務において、シングル鉄筋を採用したことにより本事案が発生していると指摘を受けている。過去の資料からは当時シングル鉄筋を採用した経緯は不明であり、建設時点での役場側の対応には問題があったと指摘せざるを得ない。

また、擁壁の傾倒から1年以上が経過しており、これまでの対応の遅れも問題であり、今後はスピード感を持った対応が必要である。

今後については、子ども達がグラウンド利用するにあたり支障が生じないよう方法の検討を行い、地域に対しても十分な説明を行った上で対応に当たることを望んで委員会報告とする。